

評価シート評価点まとめ

	評価項目	市	委員会 (最終評価)	評価コメント	
総合病院	1.医療機能	診療体制	3	3	【市】 関連大学から医師の派遣を受けたり、関連病院との連携を図った。研修医9名を受け入れるなど医師の確保に努めた。 JA岐阜厚生連の関連病院の強みを活かして、救急医療を軸に二次救急医療提供体制に関し東濃厚生病院との更なる連携を深めることができた。
		外来診療	3	3	【市】 コロナ禍の影響により、患者数が減少した。 血管外科等の専門外来を開設し、発達障がい児の診療日を増やすなど診療体制の拡充に努めた。
		入院診療	3	3	【市】 コロナ禍の影響により、入院患者数が減少した。レスパイト入院の積極的な受入れ等により入院患者の受入れに努めた。
		安全管理・倫理管理	3	4	【市】 安全管理・医療倫理等の対策について、適切に実施された。 機器の整備も含め、コロナウイルス感染防止対策に努めた。 【委員会】 指定管理者自己チェックコメントに記載があるように防犯カメラの増設等施設の管理が改善され、また、来院者の健康管理を徹底するなど感染症対策の強化に努めた。
	2.政策的医療	救急医療	3	4	【市】 コロナ禍の影響により、救急患者数が減少した。 東濃厚生病院との輪番制による夜間・休日の救急患者の受入れに努めた。 新型コロナウイルス感染症に関する各種指定を受け、地元医師会と連携して感染症患者への対応に努めた。 【委員会】 コロナウイルス感染症という全く予期しない状況において、県の要請に応じ、診療検査医療機関や後方支援病床確保医療機関の指定を受け、感染症患者及び感染症疑い患者の受入体制の整備にいち早く着手するなど、地元医師会と連携して地域の感染症対応に貢献した。
		小児医療	3	3	【市】 コロナ禍の影響により、患者数が減少した。小児科の専門医の確保、発達障がい児診療の拡充を図り、小児医療体制を整備した。
		リハビリテーション医療	3	3	【市】 コロナ禍の影響により、外来・入院とも減少した。 セラピストを増員するなどし、発達障がい児の受入拡充を図った。
		災害時医療	3	3	【市】 災害訓練の実施、災害派遣チームの編成等災害時の備えを着実にいった。
	3.地域医療連携	地域医療機関との連携・協力	3	4	【市】 広報誌、病院年報の発行や認定看護師による出前講座を行うなど地域医療に関する啓発活動に努めた。 コロナ禍においても実習の受入れを継続し、各施設へ講師として派遣するなど地域に貢献した。 介護施設等14施設の協力病院となっている。地域医療連携室を設置し、患者や家族の支援を行った。 人間ドッグ等の実施件数が前年度比39.6%増加した。 【委員会】 指定管理に移行し、厚生連と一体化したことにより、地域医療機関との連携が円滑に機能した。 健康寿命の延伸に視点を置いた健康管理事業を積極的に展開し、人間ドッグ等の受診者数の大幅な増加を図った。
	4.医療従事者の確保・育成等	医療従事者の確保・育成等	3	3	【市】 休暇を取得しやすい職場環境を目指し、長時間労働の削減に努める取組を行った。 関連病院へ積極的に訪問し、医師確保に努めた。 階層別研修等、JA岐阜厚生連主催による研修に参加し、スキルアップに取り組んだ。 JA岐阜厚生連の関連病院としての強みを活かし、関連する専門学校からの看護師を確保した。
	5.施設等の維持管理	施設等の維持管理	3	3	【市】 適切に実施されている。 厚生連の蓄積したノウハウやスケールメリットを生かし契約内容を見直すなど、経費を削減した。
	6.利用料金の収受	利用料金の収受	3	3	【市】 手数料等徴収事務に関する委託契約に従い、手数料及び指定管理期間前の使用料の収納管理を適切に行った。
	7.事業報告・経費の収支状況等	事業報告・経費の収支状況等	4	4	【市】 コロナ禍の影響により、外来、入院とも患者数が減少したが、コロナウイルス感染症の受入体制の整備に努め、国のコロナ対策交付金等を受け入れることにより、当期剰余金を計上することができた。 公的医療機関としての経営ノウハウやJA岐阜厚生連のスケールメリットを活かし、収益確保と経費削減を図った。 【委員会】 コロナ禍で経営的な評価は難しいがフレキシブルに対応し、交付金を返納できた。単年度で見れば市の評価は妥当である。
駄知診	1.医療機能	診療体制	3	3	【市】 コロナ禍の影響やとき陶生苑の嘱託医が土岐医師会の対応に変更したことに伴い、外来患者数(3,982人)が減少したが、予防接種や健康診断を行うなど、地域の診療所としての機能を担った。
		安全管理・倫理管理	3	3	【市】 安全管理・医療倫理等の対策について、適切に実施された。 コロナ対策のため、自動検温器の設置、オンラインによる資格認証システムの導入をするなど患者との接触機会の減少に努めた。
	2.施設等の維持管理	施設等の維持管理	3	3	【市】 適切に実施された。 契約を見直すことにより経費の削減に努めた。
	3.事業報告・経費の収支状況等	事業報告・経費の収支状況等	3	3	【市】 とき陶生苑の嘱託医が医師会の対応となったものの、地元企業のインフルエンザ予防接種・簡易な健康診断等の受入れ増により収入を確保した。
老健やすらぎ	1.介護機能	事業体制	2	2	【市】 介護福祉士の確保の状況、介護保険施設サービス利用者数・通所リハビリテーション利用者数について、計画を下回った。 利用者数の増加を図るため、介護スタッフ等の確保に努められた。 【委員会】 運営状況を改善するため、情報収集に努め、介護福祉士の確保に努めていただきたい。
		安全管理・倫理管理	3	3	【市】 安全管理・医療倫理等の対策について、適切に実施された。 タブレット端末を活用し、面会を実施するなどコロナウイルス対策を行った。
	2.施設等の維持管理	施設等の維持管理	3	3	【市】 適切に実施された。 契約を見直すことにより経費の削減に努めた。
	3.事業報告・経費の収支状況等	事業報告・経費の収支状況等	2	2	【市】 決算において計画より大きな赤字となった。介護福祉士等の確保が課題である。
訪問ときめき	1.医療機能	診療体制	4	4	【市】 訪問看護人数は計画を上回った。 地域のニーズに応え、訪問リハを開始した。
	2.施設等の維持管理	施設等の維持管理	3	3	【市】 適切に実施された。
	3.事業報告・経費の収支状況等	事業報告・経費の収支状況等	3	3	【市】 計画より赤字が減少した結果となった。 【委員会】 計画どおりであることから市の評価と同じとする。